

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

1. 日時 令和7年11月27日（木）10:00～11:30
2. 場所 障害者支援施設花椿 会議室
3. 参加者 きらめき利用者代表、きらめき保護者代表（欠席）
あおぞら利用者代表、あおぞら保護者代表
南砺市福祉課
民生委員児童委員主任児童委員
元南砺市役所職員
南砺エリアマネージャー、花椿管理者、サブリーダー
きらめきサービス管理責任者
あおぞらサービス管理責任者 以上11名

4. 議題

討議内容

- 1) 開会の挨拶（土山エリアマネージャー）
- 2) 参加者の紹介
参加者による自己紹介
- 3) 会議の趣旨・目的の説明（室崎管理者）
 - ・利用者地域との関係づくり
 - ・地域住民への施設および利用者に関する理解促進
 - ・サービスの透明性と質の確保
 - ・利用者の権利擁護
 - ・施設の概要について（利用者の障害・年齢など）
- 4) 事業所の状況、日常生活の様子について
(六反サービス管理責任者・小川サービス管理責任者)
 - ・生活について（1日の流れ・日中活動など）
 - ・地域との連携・地域行事への参加等について
- 5) 施設見学（六反サービス管理責任者・小川サービス管理責任者）
あおぞら事業所→体育館→きらめきの通り→はなの通り→みどりの通り見学

6) 質疑応答・意見交換等

委員 1

質問：地域との関りや連携で工夫しているところは？

回答：・月水金曜日、地域のアルミ缶回収を実施。回収場所に「ありがとう」のメッセージを残してきている。

- ・にんにく、黒豆畑の生産者とのコミュニケーションを大切にしている。
- ・日中、夜間、水害想定非難訓練を実施。花椿から井口市民センターに避難をする体験を実施した。井口防災会議にも参加している。
- ・先日、井口のふれあい文化祭に参加し、発表と作品展示を行った。
- ・5月末、10月に井口保育所とさつまいも苗植え、掘り体験を一緒に行った。
- ・井口つばき学舎からミシン贈呈式に参加させて頂いた。

感想：コロナ禍から外出の機会が減っており、障害者と関わる機会が少ない。目にする機会も減り、地域と過ごせる機会を大切に、更に増やして、地域との繋がりを深くして欲しい。

委員 2

質問：以前は、えざらいや、草刈りを保護者会と一緒に行っていたか今はどのようにしているのか？

回答：平日に職員と利用者で、活動として行っている。

委員 3

感想：地元で、散歩やアルミ缶回収で歩いているのをよく目にする。以前は運動会にも参加されていたが今はなくなり、顔を見る機会が少なくなった。赤十字ボランティアや除草のボランティアで参加させて貰いたい。

委員 4

感想：この花椿ができた頃に、保育所として花椿のステージ発表を見に来ていた。コロナ禍から行事が減って残念。地域交流ができれば良い。利用者に出来ることはあって、根気よく活動されていて感心した。

回答：コロナ禍前は、園祭で発表や売店を行っていた。しかしコロナや感染症が施設内に入ってしまうと終息まで1か月程かかってしまうこともある。

地域と一緒に取り組める活動ができれば良い。

利用者

思い：・(近くのローソンがなくなったので) スーパーにお菓子を買に行きたい。
・販売に行っている。お客さんに「ありがとう。」を伝えることができた。